

医療的ケア児災害対応 サポートハンドブック

さん

災害時にこのハンドブックを手にとられた方へお願い！

◆このハンドブックを持っているお子さまは何らかの医療的なケアを必要としています。

◆このことを近くの医療スタッフにお伝えください。

◆また、お子様やご家族が困っていることがあればできる範囲でお手伝いをお願いします。

災害対応サポートハンドブックとは...

災害時に避難先や病院などで、医療関係者などの支援者が本人の基本情報や日常生活について知ることができるツールとなっています。

また、このハンドブックを作成することで、災害時に多くの方の助けが得られ、災害の備えについて考えるきっかけづくりになれば幸いです。



年 月

枚方市子ども未来部まるっとこどもセンター

目次

- わたしの基本情報・・・P.1～
- 医療的ケアの内容・・・P.4～
- 毎日の生活の過ごし方・・・P.9～
- 災害に備えて・・・P.14～



<わたしの基本情報>

☆名前

☆生年月日

☆病名

☆必要な医療的ケア *ケア内容P4～

※あてはまるものに○をつけてください。

胃ろう 経鼻栄養 酸素吸引

口腔内吸引 鼻腔内吸引 気管内吸引

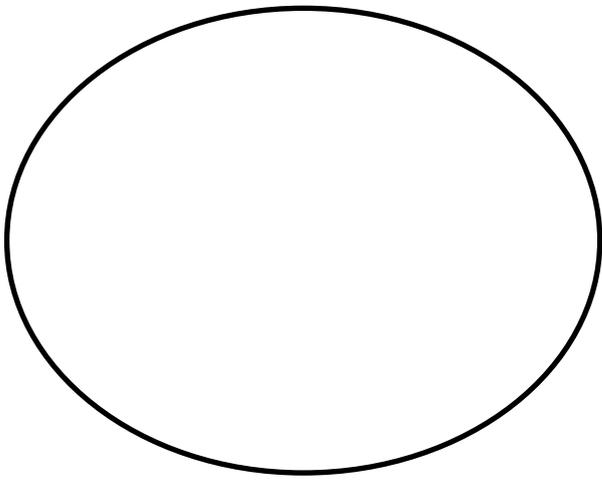
気管切開 人工呼吸器 その他()

わたしの生活について知ってほしいこと！！

例えば...

話をするのは苦手ですが、理解できます。

てんかん発作時に、バギングが必要なことがあります。



(ふりがな)

☆名前

☆学校・園

年生

☆かかつけの病院・診療所

病院・診療所

科

先生

病院・診療所

科

先生

☆住所：

☆家の電話番号：

☆普段いる部屋の場所： _____ 階建て _____

(木造・鉄筋・鉄骨)

耐震診断：あり・なし

☆家族の名前 (続柄)

電話 (携帯)



ひとこと・・・災害時に助けてくれそうな祖父母や親戚も記入しておきましょう。

☆身長 cm

☆体重 kg (測定日 年 月 日)

☆酸素飽和度 (SpO₂) %

☆体温調節 できる / 難しい
普段の体温 夏季 °C / 冬季 °C

☆てんかんなど発作：
あり なし

↓

☆てんかんなど発作時の状態

[]

☆対応の仕方

[]

栄養剤等の注入スケジュール

投与時間、投与内容、投与量、滴下速度、注意点を記入しましょう。
栄養剤だけではなく、経口摂取や水分についても記入しましょう。

(例)AM 7:30	〇〇を△△ml 滴下速度□□ml/H
---------------	--------------------

注意点

☆吸引☆

	口腔内吸引	鼻腔内吸引	気管内吸引
吸引チューブサイズ	Fr	Fr	Fr
吸引回数(平均)	回/日or時間 (夜間 回)	回/日or時間 (夜間 回)	回/日or時間 (夜間 回)

注意点

☆気管切開☆

気管カニューレ

種類

サイズ (ID)

喉頭気管分離

あり

なし

停電時・災害時に備えて知っておきましょう。

吸引器のバッテリー持続時間は連続使用は
おおむね

分です。



ひとこと・・・災害時に備えて手動・足踏み吸引器を準備しておきましょう。

☆人工呼吸器☆

離脱 可能 (分) 不可

自発呼吸 あり なし

装着時間

常時 夜間のみ 必要時 ()

<設定内容>

※最終ページに添付。

停電時・災害時に備えて知っておきましょう。

人工吸引器の内部十外部バッテリーの持続時間は 時間です。



ひとつと・・・災害時に備えて予備のバッテリーを準備しておきましょう。

☆その他の医療的ケア☆

※ケアの内容、物品の種類やサイズ、知っておいてほしいことを記入しましょう。



毎日の生活の過ごし方

<コミュニケーション方法>

例えば・・・絵カードやiPadを使っています。うなずきができます。

<苦手なこと>

例えば・・・大きい音が苦手です。大勢の人の中が苦手です。

<好きなこと>



<食事>

食事形態

普通

軟食

ペースト
(ミキサー)

経管栄養

※詳細はP4.5

食物アレルギー

あり

なし

↓内容と注意点

その他必要事項

例えば・・・スプーンで介助が必要です。

<排泄>

排泄回数

尿 回/日

便 回/日

方法

トイレでできる オムツ その他

(導尿・ストマ等)

具体的は内容や注意点があれば記入しましょう。



<服薬>表に記入するか、お薬手帳のコピーを
貼り付けましょう。

必須の 薬は○	薬の名前	服薬時間	量	服薬方法

記入日
P.12

年

月

災害準備編



災害に備えて用意しておく物リスト
生活必需品は最低3日分用意しましょう！！

P16を参考にしてみてください

置いてある場所	品目	チェック欄		
		確認日		
		/	/	/
呼吸器関係物品（医療器具含む）	蘇生バック（アンビューバック）			
	予備の回路一式・交換カニューレ			
	予備の吸引器（手動・足踏み式・バッテリー内蔵型）			
	予備の吸引用チューブ			
	精製水			
	ガーゼ、アルコール綿、使い捨て手袋			
	注射器			

置いてある場所	品目	チェック欄		
		確認日		
		/	/	/
生活関係持ち出し品	非常用食品・水・予備の経管栄養セット・トロミ剤			
	コミュニケーション機器			
	紙おむつ			
	現在内服している薬			
一般持ち出し品	ラジオ・懐中電灯			
	携帯電話の使い捨て充電器			
	保険証・特定疾患医療受給者証			

<参考>

災害に備えて何が必要？



水・食料・薬・保険証・お薬手帳の
コピー・予備のモバイルバッテリー・
懐中電灯など

災害に備えておくべき

医療的ケア物品の例

人工呼吸器：呼吸器回路（予備）

蘇生バック

気管カニューレ（予備）

吸引：手動・足踏み吸引器

吸引セット（予備）

経管栄養：経管栄養セット（予備）

酸素：酸素ボンベ

医療材料等：ガーゼ、アルコール綿、使い捨て手袋、蒸留水、注射器

非常用電源：外部バッテリー、延長コード、シガーソケット対応インバーター



ひとつこと・・・

お子様、ご家族のベット周辺は安全ですか？
家の中の環境整備も大切です。

* 災害時の避難先について 書いておきましょう！

● 災害時の指定避難場所となっているところ

※市のホームページをチェックしましょう。

◇ 洪水（大雨）時の避難方法

避難先：

避難所までの避難方法：

◇ 大地震時の避難方法

避難先：

避難所までの避難方法：

● 災害時、安否確認や救助に役立つように通所先など自宅以外で日中にお子様がいるところを記入しましょう。

※例 ○○療育センター 連絡先：△△△-××××

◇
連絡先：

◇
連絡先：

◇
連絡先：

● その他 避難できる場所もあれば記入しましょう。

例 ○○病院、親戚の家

◇ 住所：
連絡先：



ひとこと・・・地域の医療救護所のある避難場所も調べておきましょう。

自宅周辺で起きる災害の被害想定の情報を知っておきましょう。

※ホームページをチェックしましょう。
自宅周辺のハザードマップを見てみましょう。



●洪水・浸水害

(例) 自宅周辺は1.0m～2.0m未満(浸水の深さ)

淀川 木津川 船橋川 穂谷川 天の川

区域外

想定 of 浸水深 _____ m

●土砂災害

(例) 土砂災害警戒区域に指定されている

区域内 区域外

●地震

(例) 南海トラフ地震 震度6強

●津波 (枚方市外に滞在の場合)

(例) 0.3m～1.0m未満(浸水の深さ)

●高潮 (枚方市以外に滞在の場合)

(例) 1.0m～2.0m未満(浸水の深さ)

●その他

さん サポーターリスト

	施設名	担当者	電話番号
病院・診療所			
病院・診療所			
学校・園			
支援事業所			
訪問看護			
ショートステイ			
通所施設			



ひとこと・・・地域の皆さんにもお子様の状況を
知っておいてもらおうと安心です。

ひとこと・・・お住いの地域の民生委員・児童委員は地
域のことをよく知っており、災害が発生したときに地域
で助け合えるような準備をしています。

~memo~





災害対応サポートハンドブック ～作成の手引き～



①書いてある内容に沿って書いてみましょう。

◇書く必要がない内容は空欄のままで構いません。

◇強調したいところはカラーペンで囲むなど工夫してみてください。

◇わからないところがあれば、関係者の方（医師・看護師・教諭など）に相談してみましょう。

内容について、関係者の方に確認をしておいてもらうといいですね。

②サポートリストを記入するにあたって

◇普段からお子様とかかわっている関係者の方や、災害時に安否確認やお手伝いをしてくれるような地域の方など記入しましょう。

◇サポーターの方には、ハンドブックを作成したことやコピーをお渡しするなど伝えておきましょう。

③災害準備編を記入するにあたって

◇市のホームページで、地域のハザードマップや災害の被害想定を見ることができます。また、指定避難所についても見ることができます。自宅周辺の情報について確認し、記入しましょう。

◇市では災害時要援護者の登録やヘルプカードを作成することができます。ぜひ、活用してみてください。

詳しくは市にお問い合わせください。

④記入が終わったら

◇原本はA4になっているので、二つ折りにしてA5の本型サイズになるように作成してください。

◇ファイルに挟んだり、防水のために保存袋に入れるなど持ち運びが便利ないように工夫してみてください。

◇必要だと思うものはサポートハンドブックと一緒に挟むと便利です。（お薬手帳のコピー、ヘルプカードなど）

⑤完成後は？

◇普段から一緒に持ち歩いておきましょう。

◇完成したものは、学校の先生や地域の方などお子様と関わりのある関係者の方にもコピーを渡しておくといいですね。

⑥内容に変更がある場合

◇内容に変更があれば、随時修正してください。

◇年に一回は内容の変更がないか見直しをしましょう。

人工呼吸器の設定のコピー、呼吸器の設定パネルの写真などをはりつけてください。

